



【団体概要】

会員数：8人 設立 2008年7月

目的：ちばの生物多様性を県民に紹介するため、県内の山、川、海などの豊かな自然を写真や絵画で照会するパネルを作製して、継続して県内各地で異動展示をする。

活動場所：浦安市、船橋市、市川市、千葉市、いすみ市など県内各地

今年度の活動紹介

- 20年10月11日 船橋三番瀬お采の浦の祭りに展示
11月 1日 「生物多様性食文化」「東京湾の漁業と食文化」の料理教室の廊下に展示
11月17～23日 船橋女性センターフェスティバルのロビーに展示
12月 7日 「いすみの海と漁業」の料理教室の廊下に展示
12月14日 「縄文時代の食卓と生物多様性」の料理教室の壁面に展示
1月 11日 「里海と里山のめぐみ」の合同シンポジウムに展示
(生物多様性と食文化のモデル事業)



シンポジウムの様子

展示の様子1

展示の様子2

問い合わせ ☎262-0023 千葉市花見川区検見川町3-305-9 ハイツ村松101
佐藤 聰子 TEL&FAX:043-310-3300 (090-1769-9494)
Email:hosikuzu@eos.ocn.ne.jp

モ デ ル 事 業

ちば生物多様性の表現制作と移動展示活動

- 事業期間：平成20年9月1日～平成21年1月31日
■事業の目的：ちばの生物の多様性の理解を深めてもらうために、生物の多様性を示す写真・絵画などのパネル作成と展示活動を行う。

活動の成果

(具体的な成果)

20枚～30枚の(A1パネル)の展開は千葉県の生物多様性の一面を写真やグラフを通して市民にみてもらえた。
千葉県の知らなかった地域のことや地球温暖化の影響等も具体的に知ってもらえた。

(波及効果)

2月21(土)「いすみの自然をみんなで考えよう」のタウンミーティング会場の展示物として協力することが出来た。
・担当者も参加することで新たな学びを得ることが出来た。
・高校の巡回展示や他の団体への影響もあることを知った。
時間的な問題とパネル作成の資料準備に手間取り目標のパネル枚数の作成が出来なかった。

今後の方向性

- ・展示物の貸し出し運搬費をどうするか？
- ・生物多様性展示実行委員会の財政活動を計画することが課題です。
- ・新たな資料収集と作業分担などの計画
- ・資料収集にかかる諸経費の財政をどうするか？